

# AQUA MELLOW

非常用浄水器

## 災害時の飲料水

もしも災害などで水道水が絶たれたら…

特長

軽くて持ち運びが簡単  
電源も燃料も不要  
ハンドルを動かすだけの簡単操作  
毎分5Lの豊富な水量



〈プールの水〉



〈貯水槽〉



〈お風呂の残り湯〉



〈受水槽〉

### 使用可能な水源

●プールの水、防火用水（殺菌剤を使用しているものは選りません）●お風呂の残り湯（入浴剤は不敵）●浅井戸の水●受水槽●貯水槽

※上記水源でも濾さない場合があります。事前に水源を確認してください。



¥490,000 (税別)

外形寸法 (mm) / 幅450×高さ582×奥行345 (ポンプハンドル他収納時) 質量 / 本体約17kg (ハンドル、本体カバー含む)

※付属品 / 取水ホース、ストレーナー、交換用プレフィルター、ハウジング脱臭レンジ、塩素添加殺菌キット

# SECOM

セコムアルファ株式会社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-17-14

フリーダイヤル ☎0120-81-7562

受付時間AM9:00~PM6:00 (土・日・祝日を除く)

<http://www.secom-alpha.co.jp/>

## Topics

# 大量滞留者を救え 危機管理勉強会

東京都や企業の危機管理担当者らによる「危機管理に関する勉強会」(第4回)は昨年11月24日、「新宿区西口高層ビルでの防災対策の取り組み」をテーマに都内で開き、工学院大学工学部准教授の村上正浩氏とNKSJリスクマネジメント株式会社の児島正氏が首都直下地震における被害想定や新宿駅周辺地域の防災活動について発表した。

勉強会では冒頭、塾長の齋藤貴氏(東京都総務局総合防災部情報統括担当課長)が「首都直下地震発生時には、都内で約400万人の帰宅困難者を含め、1100万人以上の滞留者が発生することが予想されているが、東京都や区市町村の防災計画には屋間人口対策が明文化されていない」と

と災害時における滞留者問題について指摘。そのため、東京都では平成19年度から都内の主要ターミナル8カ所で首都直下地震における駅前滞留者訓練のモデル事業を始めていることを紹介した。

工学院大学の村上氏やNKSJリスクマネジメントの児島氏は、新宿駅周辺でこのモデル事業に取り組んできた。

村上氏は講演の中で、新宿駅周辺地域の課題として駅西口付近における滞留者対応と傷病者対応の2つを挙げた。特に「膨大な屋間人口を抱える新宿・新都心の滞留者数は、都内の他地域に比べても多く、駅前の滞留者対策は急務」と滞留者対策の重要性を訴えた。

傷病者対応については2010年10月5日に工学院大学新宿校舎で実施された大規模な多数傷病者対策訓練を紹介。医師の人数が圧倒的に不足する災害時において、ケガのしていない健康な滞留者が傷病者の適切なトリアージ(重症度による治療優先順位)を行うことが重要だとした。

村上氏は、講演の最後に「近年、企業では、BCP(事業継続計画)の策定が求められているが、個々のBCP対策だけではなく、近隣の医療機関や大学、企業、ライフライン・インフラ整備に関わる企業らが地域内で連携し助け合う、いわゆるDCP



工学院大学准教授の村上正浩氏

(地域継続計画)が重要であり、その実現のためにも地域で防災教育を継続的に実施することが大切だ」と語った。

このほかに、阪神淡路大震災で被災した経験を生かそうと、新宿駅西口における訓練の事務局を担当しているNKSJリスクマネジメント株式会社の児島正氏が、阪神淡路大震災の被害状況について解説。その後は、参加者を交え活発な討論を行った。(新宿駅西口地域の傷病者対応実働訓練については、本誌2010年11月号および本号でも紹介)

5回目の勉強会は12月15日、「航空会社の危機管理とハイジャック体験を今に伝える」をテーマに開き、1999年7月に起きた全日空機ハイ



東京都総務局総合防災部  
情報統括担当課長の齋藤貴氏

ジャック事件当時の機長で、現在ANA総合研究所理事の山内純二氏と同研究所の白澤憲志氏が、航空会社の危機管理について解説した。



阪神淡路大震災の経験を語る  
NKSJリスクマネジメント株式会社の児島正氏

#### 【6回目以降の勉強会日程】

第6回勉強会【2月2日】(予定)

テーマ：「企業不祥事からの信頼回復の取り組みについて(仮題)」、  
雪印乳業(株)CSR室、利根課長

第7回勉強会【3月16日】(予定)

テーマ：「様々な危機事案への対応(仮題)」、  
元東京都危機管理監(現東京ビッグサイト(株)社長)島田健一氏

勉強会への問い合わせ、申し込みは  
事務局(sjukul@gmail.com 上田悦久氏)まで。

DyDo

自動販売機の社会貢献

私たち  
ダイドードリンコが  
できること。

# 自販機が災害時の 飲料備蓄庫に



災害救援  
ベンダー

非常用電源を搭載  
停電時も飲料提供可能



お問い合わせ・資料請求は  
ダイドードリンコ(株)  
東京営業部/武田・松本まで

TEL 03-5730-2057

www.dydo.co.jp